

2011年図書館総合展

JMLA/JPLAフォーラム

社会貢献のための図書館ネットワークを考える：
震災時復興に向けた健康医療情報の提供

**日本医学図書館協会による震災復興支援
NPO法人としてできること
(文献無料提供活動など)**

特定非営利活動法人日本医学図書館協会
専務理事 坪内政義

2011年 秋
パシフィコ横浜



NPO法人日本医学図書館協会 平成23年9月30日現在の会員数

| | |
|-------|----------|
| 正会員A | 88機関 |
| 正会員B | 49機関 |
| 正会員個人 | 111名 |
| 協力会員 | 2機関 |
| 維持会員 | 20機関(団体) |
| 維持会員 | 2名(個人) |



法人としての出発 2003～

法人化の理由

- 社会的地位の獲得
 - 諸機関・団体との交流、協力活動の促進
 - 互惠互助の任意団体から脱して
- ①保健・医療に貢献する**社会的な団体**に
 - ②保健・医療の情報サービスのための**専門家集団**に



平成22年度～平成24年度中期重点事業（目標）

医学図書館（協会）の必要性と社会貢献のあり方を具体的な活動によって示す

⇒JMLAが社会的、学術的活動を基幹事業とし、その普及に努めることを意味する

⇒その事業は、会員（機関）の図書館サービスと個々のスキルアップをもたらすもの

この観点から、東日本大震災復興支援活動を理解できるだろうか

Tohoku University Library



Kitasato University Medical Library



加盟館の主な被害状況

| | |
|-------|---------------------------------|
| 岩手医大 | 50、000冊落下、建物破損 |
| 東北大医 | 250、000冊落下、建物破損 |
| 福島県大医 | 40%の資料が落下、上下水道使用不能 |
| 奥羽大歯 | 50、000冊落下、30、000冊水濡れ、建物亀裂、水道管破裂 |
| 自治医大 | 170、000冊落下 |
| 慶應大医 | 50、000冊落下 |
| 東京医大 | 大部分の資料が落下 |
| 東京女子医 | 製本雑誌書架全倒壊 |
| 北里大白金 | 製本雑誌書架2/3倒壊 |
| 日大歯 | 10、000冊落下 |
| 北里大医 | 製本雑誌書架全倒壊 |
| 埼玉医大 | 70、000冊落下 |
| 明海大歯 | 50、000冊落下、水道管破裂 |
| 埼玉県大 | 38、000冊落下 |

JMLAの対応

- 地震発生直後の図書館被害報告
- 支援について理事会で協議
- 人的支援の検討－被害が大きく、現場での対応が困難
- **医療機関、医療従事者への文献無料提供**
 - － ライフラインの復旧、食糧、医療、薬の提供が最優先
 - － 文献の必要性には疑問がある
 - － それでも医学文献が求められているとしたら、その要望に応えられるのは医学図書館にほかならない

震災復興支援活動

(1) 文献無料提供活動

- 目的
 - 被災地域の大学、病院、医療関連機関、医療者、あるいは救護活動に従事する医療者に文献を無料で提供する
- ILL方式/Self Access方式
 - JMLAはILL方式で提供
- 窓口館 2館(愛知医大、東邦大学)
- 協力館 39館(大学28館、病院8館、その他3館)
- 文献提供にかかった経費はJMLAが負担



協力館一覧

- 大学図書館(28館)

- 札幌医大、北海道医療大、北海道大、群馬大医、北里大白金、杏林大医、慶應大医、慶應大看、慈恵医大、昭和大、帝京大医、東京医大、東京歯大、日女体大、日大医、日大学歯、日歯大新潟、朝日大、福井大、浜松医大、大阪医大、川崎医大、神戸常盤大、兵庫医大、徳島大蔵本、久留米大医、産業医大、長崎大医

- 病院図書室(8館)

- 国立成育医療研究センター、国立病院機構、JFE健康保険組合川鉄千葉病院、聖路加国際病院、静岡県立こども病院、聖隷浜松病院、天理よろづ相談所病院、中国労災病院

- その他(3館)

- 国際医学情報センター、国立保健医療科学院研究情報センター、日本医師会



文献無料提供活動

- 申込方法
 - Webフォーム、メール、FAX、電話
- 申込資格のチェック
 - 自己申告制
- **出版社・代理店の協力**
 - 被災地の状況を考えると、郵便での文献提供は困難
 - 電子ファイルでの送信



協力を得た出版社・代理店・学会一覧 36社(会)

- AAAS/Science、American Chemical Society、American Psychiatric Publishing、Inc.、American Roentgen Ray Society、The American Society for Cell Biology、American Society of Clinical Oncology、The American Society of Neuroradiology、Annual Review、朝日新聞社、ビューローホソヤ、Cambridge University Press、Cold Spring Harbor Laboratory、EBSCO Publishing、Elsevier Japan、The Endocrine Society、癌と化学療法社、医学書院、iJapan、Informa Healthcare、医歯薬出版、The Journal of Bone & Joint Surgery、Inc.、Karger、紀伊國屋書店、Massachusetts Medical Society、丸善、メディカ出版、南江堂、The National Academy of Sciences、Nature Publishing Group、Oxford University Press、ライフサイエンス出版、Rockefeller University Press、最新医学社、サンメディア、Thieme、USACO、Wiley Japan

文献無料提供活動の実績(4～5月)

- 申込件数 112件（送付111件、謝絶1件）
- 申込機関数 7機関（大学1、病院6）
- 申込者別件数 医師：36件、図書館員：76件
- 受付機関数 22機関
（大学 16、病院 5、その他 1）
- 受付資料 雑誌のみ、和：76件、洋：36件
- 送付方法 メール20件、FAX57件、郵便34件

新たな対応

- 活動期間を2012年3月31日までとした。
- 図書館機能の復旧は今後の推移を見るが、文献の必要性は増す可能性がある。
- 断続的な実施では安定した活動とはならない。復旧に目途が立つと予想する2011年度末を期限とした。
- 支援方法は同じ。出版社・代理店にPDFファイルでの電子送信の許可を再度要請。
- 協力してくれる出版社・代理店は減ったが、郵便も回復しつつあり大きな影響はない。

文献無料提供活動の実績(4～10月)

【総受付件数】(2011年10月20日9時現在)

愛医大:127件 (4-5月 72 6-10月 55)

東邦大:190件 (4-5月 40 6-10月150)

合 計:317件 (4-5月112 6-10月205)

【現況・課題】

- ・手に入り難い和雑誌の申込が増えている。
- ・所蔵館はあっても、引き受けられないことが増えている。
- ・窓口館から、NDLや医中誌へのILL依頼が増えている。
- ・協力館を増やすなどできないだろうか？

文献無料提供活動の課題

- 組織力
 - 活動は4月に入ってから。震災から3週間近くを要した。
 - 有事の対応を想定していなかったことが原因。
- 広報力
 - 利用機関が限られていることから、活動が十分認知されていないことがわかる。
 - 広報については、現地の図書館員、救援に携わる医師らから助言をもらったが…。
 - 会員の紹介による学会サイトなどへの掲載を行ったが。



震災復興支援活動

(2) 重複交換雑誌の優先譲渡

- 通常は雑誌の欠号補充に役立てるため、会員間で毎年1回実施する。
- 被災した大学、病院等の医療関係図書館に対して、優先譲渡した。
- JPLAと合同で実施。
- JMLA、JPLA 会員以外の図書館も譲渡の対象。
- 送料はJMLA、JPLAが負担した。

— 続き

- 譲渡雑誌リストを、日本病院ライブラリー協会、日赤図書室協議会、福島県医療機関図書室協議会などの団体へ送付した。
- 各団体の事務局・代表館から、被災館に譲渡雑誌リストを配布する。
- 被災館は、希望する雑誌があれば、直接、提供館に申し込む。
- 申込期間：2011年9月 8日（木）～ 9月22日（木）
- 譲渡可否通知と資料発送は、JMLAとJPLAが指定する方法で行う。



優先譲渡の結果

第62回重複雑誌交換被災館優先譲渡報告リスト(集計) JMLA分のみ

| | 加盟 団体 | 館数 | 申込 件数 | 日本語 雑誌 (冊数) | 外国語 雑誌 (冊数) | 合計 (冊数) | 備 考 |
|-----|----------|----|----------|-------------------|-------------------|------------|----------------------|
| 提供館 | JMLA | 68 | — | 782 | 333 | 1115 | |
| 被災館 | JMLA | 11 | 82 | 427 | 150 | 577 | |
| | JMLA外 | 1 | 9 | 355 | 183 | 538 | 日本病院 ライブラ リー協会 |

JMLAの支出は39館で、請求送料 48,690円 + 支払手数料 3,920円 = 合計 52,610円

必要なことと、できること

- 震災直後に必要なのは？
医療(者)、医薬品、食糧？
- 医学図書館(員)にできることは何だったろう？
人的な援助、物的な援助、精神的な援助？
- 文献の無料提供と学術雑誌の重複交換優先譲渡
得意とし、すぐできる、最低限のことだった
- 他の団体との連携は不可能だったろうか
- 今後も必要な支援は無理せず継続したい

特定非営利活動法人
日本医学図書館協会

ご清聴ありがとうございました

2011年11月11日(金)

横浜

1927